

ベトナムの近況



シビルNPO 連携プラットフォーム個人正会員 坂本 文夫

東南アジア最後のユートピアといわれるベトナムに、日本技術士会海外活動支援員会の一員として今年の2~3月に出張する機会を得た。ベトナムでは、ホーチミン市、ダナン市、クワンガイ省、フエ市、ハノイ市を視察した。そこで感じたことは、ベトナムの朝は早く、道路はバイクと車で溢れ、路面が見えないくらいの交通量の多さに驚いた。各都市に共通していることは、道行く人のほとんどが若く、街の市場は活気にあふれ、経済が好調であることを実感した。

(1) ベトナムの概況

ベトナムは南北に 1,650 km、東西方向は北部で 500 km、中部の狭いところで約 50 km、国土の面積は 34 万 km²、日本の総面積から九州を除いた面積に相当する。2017 年上期のデータによると、ベトナムの人口は 9,370 万人、人口ピラミッドは釣鐘型の形状をしており、若い労働者が豊富に供給できる環境にある。

世界的な貿易自由化の進展により、労働賃金が安く豊富な労働力を求めて多くの企業が中国に進出した。その後、中国は目覚ましい経済発展を遂げ、それに伴って労働賃金が高騰した。この状況に直面した企業は、生産コストの低減を図り国際競争力の優位性を確保するため、電力が安く低賃金で優秀な人材を求めてベトナムに進出する企業が増加している。



ホーチミン市の JICA 案件の地下鉄工事

(2) ベトナムの経済概要

ベトナムの 2018 年の成長率は 7.08%、一人あたりの名目 GDP は 2,587 USD を記録した。貿易収支をみると、2003~2011 年は 45~180 億 USD の赤字が続いていたが、2012 年に 7 億 9000 万 USD の黒字を記録、2015 年に赤字に転落したものの、その後は 25 億 USD の黒字、2017 年は 72 億 USD の黒字を記録した。外貨準備高をみると、2006 年から 100 億 USD を常時超えるようになった。雇用状況を表す 2018 年の失業率は 2%で推移しており、ファンダメンタルズは堅調である。



ダナン市人民委員会の建物

(3) ベトナムの経済成長を支える人材育成の必要性

ベトナムは、TTP などグローバル化の進展により国際競争力の強化に取り組んでいるが、裾野産業の育成が喫緊の課題となっている。裾野産業が抱える技術的課題の解決を図るため、技術水準の向上に力が注がれている。ベトナムの企業は、最初は国営企業が先行していたが、最近では民間企業がかなり力をつけている。これまでの企業は「技術は無償で支援を受けられるもの」と考えていたが、最近では「必要な技術はカネを支払っても獲得する。」という考え方に変わってきた。今後、国際的な企業間の競争が激しくなることが予想され、競争力強化に必要な専門技術者の人材育成が喫緊の課題となっている。このような状況の中、今回、ダナンの大学で講演を行って分かったことは、ダナン市人民委員会及び大学が日本との関係強化を強く望んでいるということである。その一環として、人民委員会及び大学では日本語教育を推進しており、さらに経済発展を支えるための人材育成について日本に協力を求めている。



ベトナムの工事現場

以上の要望に応えるには、専門的な技術者の人的資源の支援が必要であり、そこには、ベトナムの経済発展に資するシニア世代の技術者の新たな活躍の場が広がっている。

ベトナム経済の指標

項目	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
実質 GDP 成長率	%	6.4	6.2	5.3	5.4	6.0	6.7	6.2
名目 GDP	10 億 USD	112.8	134.6	155.6	170.6	185.9	191.5	200.5
一人当たりの GDP	USD	1,297	1,532	1,753	1,902	2,049	2,088	2,164
失業率	%	4.4	3.6	3.3	3.6	3.4	3.3	3.2
外国直接投資	百万 USD	11,000	11,000	10,047	11,500	12,500	14,500	15,800
外貨準備高	百万 USD	12,467	13,539	25,573	25,894	34,189	28,250	36,527
消費者物価指数	年平均 (%)	9.2	18.2	9.2	6.6	4.1	0.6	2.7

資料：JETRO ハノイ、ベトナム一般概況～数字で見るベトナム経済、2017年9月